

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 30日

福山市長 様

提出者

住所 広島県福山市新市町常1450

氏名 カイハラ産業株式会社

代表取締役社長 貝原 護

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0847-57-8111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	カイハラ産業株式会社 本社工場
事業場の所在地	広島県福山市新市町常1450
計画期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1、2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1、2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1、2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(2024年度)実績量

計画：今年度(2025年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
燃え殻	0.8		0		0		0		0		0.8		0.8		0.8		0		0		
汚泥	4089	3966.33	0		0		3805	3690.85	0		284	275.48	284	275.48	284	275.48	0		0		
廃油	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
廃酸	0.23	0.2	0		0		0		0		0.23	0.2	0.23	0.2	0	0.2	0		0		
廃アルカリ	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
廃プラスチック類	20.398	19.99004	0		0		0		0		20.398	19.99004	20.398	19.99004	20.398	19.99004	20.398	19.99004	0		
紙くず	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
木くず	4.68	4.5396	0		0		0		0		4.68	4.5396	4.68	4.5396	4.403412		4.68	4.5396	0		
繊維くず	66.006	64.02582	0		0		0		0		66.006	64.02582	1.61	1.5617	66.006	64.02582	0		0		
動植物性残さ	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
動物系固形不要物	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
ゴムくず	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
金属くず	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
鉱さい	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
がれき類	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
動物のふん尿	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
動物の死体	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
ばいじん	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		
合計	4181.114	4055.0855	0	0	0	0	3805	3690.85	0	0	376.114	364.23546	311.718	301.77134	375.60741	359.69586	25.078	24.52964	0	0	

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	11:繊維工業
②事業の規模	製造品出荷額:112億円
③従業員数	137人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 活性汚泥処理による余剰汚泥の発生抑制の研究 凝集処理による無機性汚泥の発生抑制の技術研究 脱水効率の向上の研究 脱水量削減の研究 自らの排水処理設備での処理 ペーパーレス化の推奨
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> 脱水効率の向上の研究 産業廃棄物から有価物化の検討 再利用化可能な梱包材の検討

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> それぞれ分別保管しているが、特に汚泥については無機・有機の汚泥で区別している 産業廃棄物は分類されて、ほとんど再資源化されている。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> 現状の継続

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> 特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 脱水機の保全周期を決め、脱水不良による含水率増加を抑制する。 排水処理に直接使用している薬剤の再選定を実施し、汚泥発生量の抑制を検討する。 排水処理に直接使用している薬剤添加量を減らす。 排水処理に薬剤を添加し、汚泥の発生を抑制する
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> 排水処理に薬剤を添加し、汚泥の発生を抑制 (継続) 脱水助剤を添加し、汚泥の含水率を低減する

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

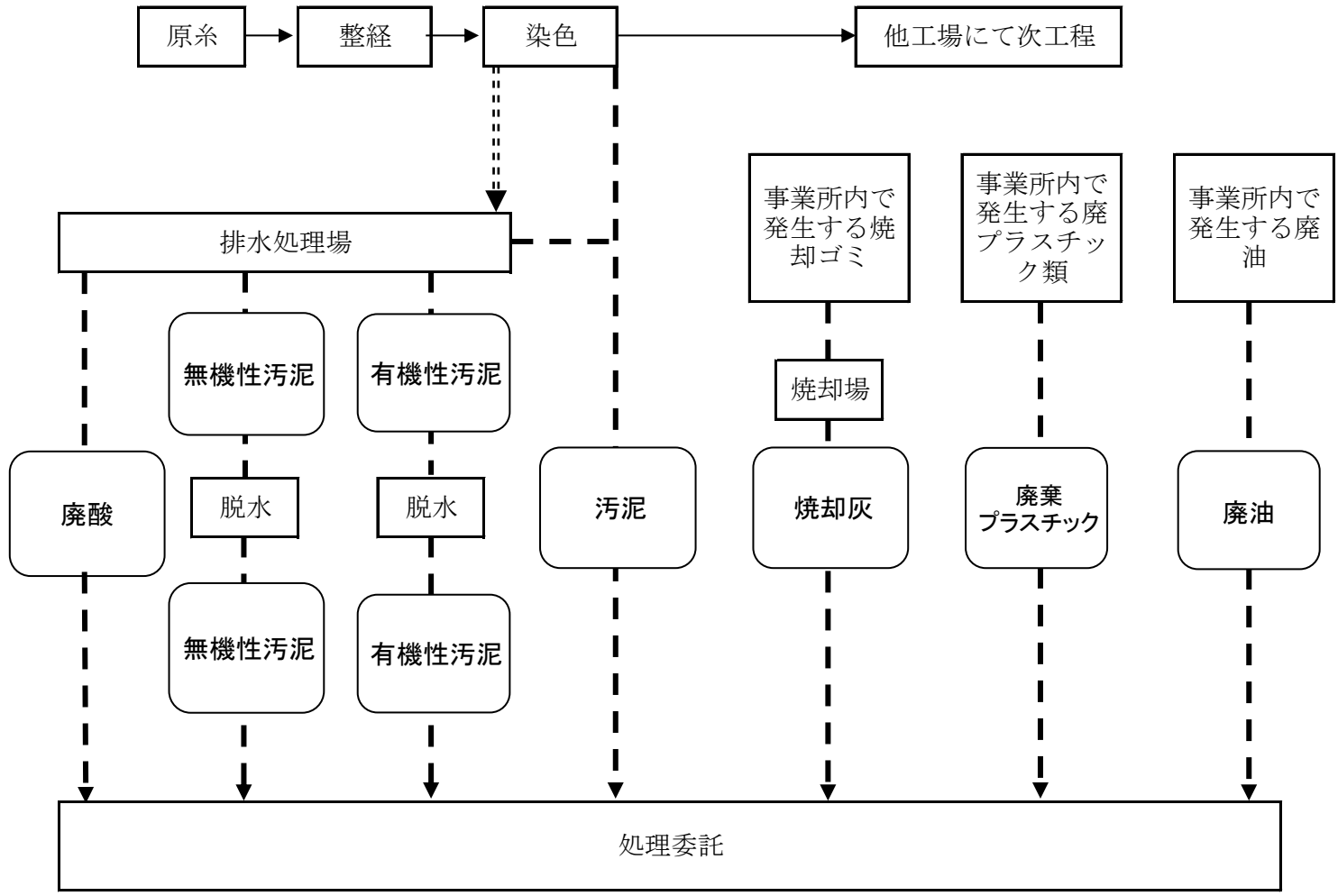
①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> 予定なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 委託基準を遵守できる産業廃棄物業者を選定している。 優良認定を受けた産業廃棄物処理業者を極力利用する。また、新たな処分先を選定していく。 再生・再資源化に対応できる処理業者を中心に委託し、環境負荷の低減を進める。
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> 再生・再資源化に対応できる処理業者へ切替を検討し、環境負荷の低減を進める。

〔産業廃棄物発生工程フロー〕

事務部門・商品企画室・施設環境管理部



別紙2-③ 廃棄物処理に関する責任者及び管理体制図

統括責任者		所属: 本社工場 職・氏名: 工場長 細川大樹
廃棄物担当		組織名: 施設環境管理部環境保全課 職・氏名: 課長 貝原由保 組織人数: 9名
役割	本社環境管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長-工場長 ・委員-関連部署部課長 ・事務局-環境保全課
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の作成 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各所報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

